

『GMO カイコ作出技術とその応用について』

農業・食品産業技術総合研究機構 笠嶋（炭谷）めぐみ

日本発の新たな医薬品開発プラットフォームの構築のために、我々はバイオ医薬品の新規製造およびモデル動物としての遺伝子組換えカイコの開発と生産体制の構築を進めている。カイコ (*Bombyx mori*) は、完全に家畜化されており、人工飼料による大量無菌飼育も可能である。2000年に当グループが開発したカイコにおける遺伝子組換え技術の確立は、カイコ遺伝学の基礎研究や新素材開発などの応用研究の基盤的技術となっている。本セミナーでは、GMO カイコ作出技術を紹介しながら、カイコが産生する臨床診断薬、試薬、化粧品、医薬品の原料タンパク質などの利用の現状を紹介する。(また、最近の研究について面白おかしく紹介する。15分程度。)